

ご挨拶

3月9日の社員総会をもって一般社団法人日本学生卓球連盟会長を退任しました河田です。

理事会及び監事の皆さん、関係者の皆さん、任期中の3年間、温かいご支援・ご協力を頂き本当にありがとうございました。今後は中村守孝新会長が、明るく活力あふれる雰囲気 皆さんとともに日学連を一層盛り上げていかれることと確信しています。引き続きよろしくお願い致します。

3年間を振り返りますと、コロナ禍の制約もあり、諸々の大会運営にご苦労も多かったと思いますが、皆さんの力で日学連の主要イベント（2023年度にはグローバルな交流試合も復活）、そして9ブロック各学連の様々な活動を実施できるようになったことは喜ばしく、改めて感謝申し上げます。大会で各地を訪問するたびに、参加選手（する人）の熱戦からは感動や元気ももらいましたし、主管学連・大学の運営・支援側（支える人）の努力や工夫もうかがえて、する人・見る人（コロナ5類移行で徐々に復活するでしょう）・支える人の一体感も心強く感じることができました。皆さんそれぞれの立場でのそうした経験は貴重な財産として必ず今後生きてくると思います。

また、社団法人化して2年たちました。特にこれからの時代をにやう学生幹事の皆さんは、スポーツガバナンス、スポーツインテグリティについても思い起こしてください。社会にでてどの分野に進んでも、新しい時代に応じたガバナンスやインテグリティの視点はきっと役に立つでしょう。

日学連アゴラについては、関係者の皆さんが、世代をこえていろんな立場から、自由に思いを語り合い、意見交換できるWEB上の広場があればと開始しました。2年目の後半ですがすでに約60人の皆さんが登場して、一人一人多様な経験や感性から書かれた内容に、苦心もやりがいも楽しさも感じられて、私自身も読むのを楽しみにしています。お互いに啓発し合ったり、新たな気付きで学べることも多いと思いますし、直接会う機会が少ない他学連・他大学の人たちとも、仲間意識をもって交流の輪が広がっていけば何よりです。特別参加者の寄稿や代表選手たちの声も加わり、これからも卓球愛をもついろんな参加者が登場して、のびのびと話しあえるアゴラになることを願っています。

東北学連の狩野君が、アゴラの意味を調べてくれましたね。興味を抱くことはとてもいいことです。古代ギリシャついでの話ですが、古代オリンピック発祥の地なのはご承知の通りですし、ソクラテス、プラトン、アリストテレスといった偉大な哲学者も多く輩出しました。3年前に、日学連会長を承った時に、現場・多様性・コミュニケーションを重視して、皆さんとともに活動していきましようと話しましたが、多様性やコミュニケーションとの関連では、説得力やリーダーシップを高めるうえで、アリストテレスは、「エトス」と「パ

トス」と「ロゴス」が大切だと言ったそうです。「エトス」は Ethics (倫理性、人間性)、「パトス」は Passion (熱意、情熱)、「ロゴス」は Logic (論理性、筋道) につながります。2400年前も今も人間に関わる見方は変わらないようですね。スポーツインテグリティのインテグリティにもつながる考え方かと思います。参考にして頂ければ幸いです。

結びに、会長任期中に頂きました皆様のご厚情、ご懇情に改めてお礼申し上げ、日学連と皆様の益々のご発展、ご健勝を祈念して、退任のあいさつとさせていただきます。

河田正也